

No.	部活動名	①安全のための活動方針 (顧問が現場にいるときの活動、いないときの活動)	②器具、設備利用の対応	③環境整備、安全点検の実施	④日没への対応 (主に屋外競技)	⑤その他	部活動名	No.
1	男子ハレーボール	・熱中症予防のため、練習の合間に適宜水分を摂る。 ・ボールによる怪我を防ぐため、転がっているボールは声を掛け合い、すぐに取りに行く。 ・スパイク練習では打つ方向を考えて実施する。	・支柱・ネットその他器具に不備がないか、練習前に確認をする。 ・練習中・後には適宜モップをかける。	防球ネットを活用し、怪我を未然に防止する。 夏季には扇風機を設置し、熱中症対策を行う。	特になし。	・練習後は速やかに帰宅する。	男子ハレーボール	1
2	女子ハレーボール	特になし。	・支柱・ネットその他器具に不備がないか、練習前に確認をする。 ・練習中・後には適宜モップをかける。	防球ネットを活用し、怪我を未然に防止する。 夏季には扇風機を設置し、熱中症対策を行う。	特になし。	・こまめに給水させる。 ・練習後は速やかに帰宅する。	女子ハレーボール	2
3	男子バスケットボール	・顧問が現場にいない場合の練習は、事前にキャプテンと練習メニューを確認し実施する ・顧問が現場にいない場合は激しい練習は行わない ・運動量の多い練習が連続しないようにする	・練習前にはフロアのモップ掛けを行い環境整備する ・フロアの状態を確認し、スリップ防止のために雑巾かける ・フロアの突起物にはマスキングテープを張り安全の確保をする	いつでも給水できるようドリンクボトルをフロアに用意する ・水銀灯が切れた場合は速やかに交換を行い、照度の確保をする ・夏季には風通しを意識して、扇風機を設置し、熱中症対策を行う	特になし	・練習後は速やかに帰宅するように指導する ・できる限り複数で下校する	男子バスケットボール	3
4	女子バスケットボール	・顧問が現場にいない場合の練習は、練習前にキャプテンと練習メニューを確認し実施する ・顧問が現場にいない場合は負荷の高い練習は行わない ・運動量の多い練習が連続しないように工夫し実施する	・練習前にはフロアのモップ掛けを行い環境整備する ・フロアの状態を確認し、スリップ防止のために雑巾かける ・フロアの突起物にはマスキングテープを張り安全の確保をする	いつでも給水できるようドリンクボトルをフロアに用意する ・水銀灯が切れた場合は速やかに交換を行い、照度の確保をする ・夏季には扇風機や簡易ミストを設置し、熱中症対策を行う	特になし	・練習後は速やかに帰宅するように指導する ・できる限り複数で下校する	女子バスケットボール	4
5	男子テニス	・足元にボールが散らばった状態で練習しないよう、顧問、部員同士の声掛けを徹底して行う。 ・20～30分に1度は水分補給の時間をとる。 ・熱中症予防のため、夏季(6月～9月)は、帽子を着用する。	・練習後にはコート整備(ブラシ掛け、ライン出し)を行う。	・コートの状態をこまめに点検し、必要に応じて整地や、ラインテープの交換を行う。 ・夏季休業中に、除草などのコート清掃を行う。	・暗くなりボールが見えづらくなる時間帯は、対人練習は行わず、球出し練習やコート内トレーニングを行うなど練習内容を工夫する。	部員同士の声掛けを徹底し、相互確認を行う。	男子テニス	5
6	女子テニス	・足元にボールが散らばった状態で練習しないよう、顧問、部員同士の声掛けを徹底して行う。 ・20～30分に1度は水分補給の時間をとる。 ・熱中症予防のため、夏季(6月～9月)は、帽子を着用する。	・練習後にはコート整備(ブラシ掛け、ライン出し)を行う。	・コートの状態をこまめに点検し、必要に応じて整地や、ラインテープの交換を行う。 ・夏季休業中に、除草などのコート清掃を行う。	・暗くなりボールが見えづらくなる時間帯は、対人練習は行わず、球出し練習やコート内トレーニングを行うなど練習内容を工夫する。	特になし。	女子テニス	6
7	陸上競技	・投擲種目は、顧問が現場にいる時間のみ投げることができる ・毎回、練習前にキャプテンと練習メニューを確認し実施する ・グラウンドコディションは、体育科主任の判断に従う ・高重量のウエイトトレーニング時は顧問がいるときのみ実施可能	・投擲は、他の部活動が活動していない、もしくは安全が保障される状態で、顧問同士の確認をして実施 ・高跳びのマットは、跳躍する方向に合わせて、毎回すらしながら行う。 ・砂場は、着地地点の四方50cm以上を余分に掘り、深さもスコップ先が隠れるまで掘り返す	・サッカーゴールの後ろ走路には防球ネットを設置してもらうよう依頼する ・走行する前には、他部活にも聞こえるように掛け声をかけ、接触を避ける ・グラウンドは適宜整備をかけ、練習最後には全員でスパイク後などを綺麗に整える	・棒高跳、投擲種目は行わない ・走行前には、より大きな声で掛け声をかける	・棒高跳、投擲種目等の技術性の高い種目に取り組むときは、基本を重視した指導を行うが、指導ができないときには実施させない。	陸上競技	7
8	剣道(同好会)	・練習前に床にモップをかけ怪我につながらないように掃除を隔々まで行う。 ・準備運動をしてから竹刀素振り→防具を付けた練習と徐々に体をならしていくようにする。	・面紐、胴紐のゆるみなどの装着の不備はお互い声を掛け合い、正しい形で練習する。 ・竹刀の手入れを普段から行う。	・大きい動きがあるメニューでは場所を確保し、そばにいる部員に竹刀があたったり体当たりがないように配慮する。	特になし	・練習後は速やかに帰宅する。	剣道	8
9	サッカー	・練習前と最後には、柔軟・ストレッチなどを必ずする。 ・練習メニューは、事前にマネージャーを通して、伝えている。 ・給水は随時取るようにしているが、練習の合間に給水の時間を確保している。	・ボール、コーン等の器具はマネージャーを含めて部員全員で運搬する。 ・サッカーゴールが倒れないように、必ず重しが乗っかっていることを確認する。 ・練習後は全員で協力して、器具を片付け、グラントを整備する。	他の部活動と活動場所が重なる場合は、マーカーやコーンで仕切ったり、防球ネットを設置する。	・ボールが見えづらい時は蛍光ボールを使う。 ・ボールがさらに見えづらくなったときは、ボールを扱う練習はしない。	・練習後は速やかに帰宅するように指導する。 ・練習を集中して行うとともに、普段の生活も気を配るように指導する。	サッカー	9
10	水泳	・飛込練習は、顧問が現場にいる時間のみすることができる ・毎回、練習前に入念な準備運動を実施する ・スイムコディションの可否は、顧問の判断に従う ・メニューの合間に必ず給水の時間を確保する	・スタート及び引き継ぎ練習は安全が保障される状態で、顧問とキャプテン同士で確認をして実施 ・コースロープの破片が浮揚している場合は、練習前に取り除きプールサイドに集める ・ベースクロックが倒れないように重しを工夫しておくようにする	・プールサイドは常に水でぬらし、熱中症にならないよう打ち水を欠かさず行う ・コースロープが一部壊れた場合は速やかに破片の回収を行い、安全確保を実施する	特になし	・練習後は速やかに帰宅するように指導する ・できる限り複数で下校する	水泳	10
11	硬式野球	・顧問が不在、他部活が活動中の場合は原則バッティングは行わない。 ・15～20分ごとに給水の時間を確保する。 ・内野ノックを行う前にグラウンド整備を行う。 ・人の往来がある場合などは、プレーを中断する。	・バッティング、バント練習の際はヘルメットを着用する。 ・バッティング練習を受ける場合はキャッチャーレガースを着用する。 ・マシンの球入れ、バッティング練習の補助を行うものはキャッチャーレガースを着用する。 ・バッティングピッチャーを行う際はヘッドギアを着用する。	・人の往来がある場合にはプレーを中断するなどして、安全確保に努める。 ・内野ノックを行う場合は、グラウンド整備を行う。 ・バントを振る際には、間隔を十分に確保する。 ・雷鳴が聞こえた場合には安全な場所に避難する。	・日没、天候を考慮しボールが見えづらい場合にはボールを扱う練習は行わない。	・高校球児としての自覚ある行動が出来るよう指導します。	硬式野球	11
12	バドミントン	・毎回、練習前にキャプテンと練習メニューを確認し実施する ・30分に1回は休憩(給水)の時間を確保する ・シングルス追い込みの練習は顧問の居る時のみ実施できる ・ラケットを振る時に周りに人がいないかを確認する	・練習に先じて体育館の目釘等の浮きがないかを目視で点検 ・支柱の金具に手を挟まないよう注意する。	・体育館フロアの点検修理を依頼する ・プール側仮設コートの支柱が倒れないようウエイトを活用する	特になし	・至近距離でのシャトル強打は怪我につながるため、キャプテンから繰り返し注意をする	バドミントン	12
13	ハンドボール	・随時給水を認めているが、1時間に1回は休憩を入れる ・練習内容は顧問の指示に従い実施する	・全員が共同で準備片付けを行い、器具や設備の管理および整備を行う	・ゴールの転倒、防球ネットの転倒がないか随時確認する	・日没後はボールを使わないトレーニングを行う	・活動日数や活動時間に配慮しながら、計画を立てる	ハンドボール	13
14	ソフトボール	・毎回、練習前にキャプテンと練習メニューを確認し実施する。 ・15～20分に1回は休憩(給水)の時間を確保する。 ・ノック練習は顧問の居る時のみ実施できる。	・ネットならびに使用道具の運搬には十分に注意し、重いものは一人で無理をせずに、必ず2人以上で移動するようにする。	・使用機器の確認(特に金属製品、ネット・バット等の確認)をする。 ・試合を想定しない練習(特に雨天時の練習)には十分配慮する。	・ノック時は他のグラウンド部活動の活動状況を見ながら実施し、安全に配慮して行うようにする ・日没時のノック、ロングティーを極力避けるようにする。	・新しい練習を導入時には部員だけで行わず、顧問付き添いで行うようにする。 ・新型コロナウイルス関連の問題が終息するまで、部室での滞在期間を極力短くし、少人数で更衣するようにする。	ソフトボール	14
15	演劇	・活動場所では動きやすい服装をする。 ・給水、休憩の時間をスケジュールに組み込む。	・道具の運搬、作成時には、必ず生徒2人以上であったる。 ・工具使用時には顧問が立ち会う。	・定期的な清掃を行い、活動場所の保全を図る。 ・空調などを使い室温の管理をする。	・日没前に校舎外での活動を必ず終える。	・スケジュールを定期的に見直し、余裕をもって活動できるように努める。	演劇	15
16	ハンドメイド	・アイロンやミシンを使用する場合は、火傷や怪我に注意する。 ・調理実習を行う時は、必ず顧問が付き添う。	・設備や器具の使い方を指導し、安全と衛生に注意して活動させる。 ・道具の整理整頓、実習室の清掃に努める。	・ミシンやガスコンロなど、設備や器具の安全点検を定期的に行う。 ・清掃を徹底し、衛生管理に努める。 ・空調を使用し、室温の管理をする。	・日没後は速やかに帰宅する。	特になし。	ハンドメイド	16
17	軽音楽	・機材の運搬時は、十分注意して行う。	・配線が絡まらないようにしまい方を工夫する。 ・定期的に機材の整理整頓を行う。	・活動時毎に活動場所の清掃を行う。	・特になし	特になし。	軽音楽	17
18	アンサンブル	・楽器の練習をする際は、隣の人とぶつからないように十分な空間を確保する。 ・校外で活動する際は、交通などに十分注意する。	・顧問の付き添いがあるときのみ、音楽室の備品楽器を使用することができる。 ・楽器は毎日手入れをし、常に清潔に美しく保つ。 ・切れそうな弦がある場合は、事前に交換する。 ・活動場所に置いてある備品に、勝手に触れてはいけない。	・長時間の練習の時は、1時間毎に10分の休憩を入れ、水分補給をする。 ・猛暑日はエアコンを利用し、常に室温を確認しながら活動する。 ・活動場所やロッカー内は、常に清潔に美しく保つ。	・日没後は速やかに帰宅する。 ・活動後は学校に残らず、速やかに帰宅する。	・備品楽器の調整、弦の交換は部員だけで行わず、指導者付き添いの下で行うようにする。	アンサンブル	18
19	美術	・工具(のこぎり・ドライバー等)を使う際は、十分な空間を確保し使用する。	特になし	整理整頓を心がけ、定期的に清掃を行う。	特になし。	特になし。	美術	19
20	茶華道	・手洗い、使用道具をきれいに洗う、など衛生面に十分注意する。 ・正座に慣れていない段階での正座での練習時間に気を付ける。	・ガス器具は、顧問もしくは、講師の先生しか使えない。	特になし。	特になし。	特になし。	茶華道	20
21	ダンス	・音量に注意し、周囲に配慮する ・校外での活動のための移動は、複数で安全に注意する。	・道具の破損、亀裂などの状況を毎練習前に行う。	・床、くぼみなど破損を毎練習前に点検する。 ・高温時には、空調の管理、水分の準備に注意する。	特になし。	特になし。	ダンス	21
22	写真	校外で活動する場合には、交通などに十分配慮させる。 単独の行動は、できるだけ避けさせる。	コンピュータ教室は顧問付き添いのもとで利用できる。 器具(カメラ等)の盗難・紛失に十分留意させる。	暗室など利用教室の清掃・整理整頓をさせる。	特になし。	特になし。	写真	22
23	書道	同じ姿勢で長時間作業を継続しないよう、時折、休憩をいれる。	大きな道具を用いるときは、必ず複数の生徒で行う。パフォーマンスの準備をするときは、十分にゆとりをもったスペースで作業を行うように注意をする。	整理整頓を心がけ、定期的に清掃を行う。	日没後はすみやかに帰宅をする。	特になし。	書道	23
24	文芸漫画研究	暑さ寒さの厳しい時には、体調不良にならないように十分に注意する。	・ラミネート機を使用する際は、高温になるためやけどに注意 ・電源の長時間の入れっぱなしはしない(使う時のみ電源ON) ・しまう時には十分冷えたのを確認してから収納する	用具は大切に扱い、整理整頓を心掛ける。清掃を適宜行い、教室をきれいに保つ。	特になし。	部活動終了後は速やかに帰宅する。	文芸漫画研究	24